

## 尻内橋に新しい「バットボックス」を設置しました。 平成22年12月7日

12月7日(火)、馬淵川6.9k地点で交差する尻内橋で、重要希少野生生物であるヒナコウモリの出産保育場所「バットボックス」の交換作業を行いました。バットボックスは、平成10年に開通した新しい尻内橋の架替えの際に撤去された、旧尻内橋に営業していたヒナコウモリの代替営業場所として、平成11年に「こうもりの保護を考える会」(代表 向山満さん)により設置されたものです。当日は、総合的な学習の時間においてヒナコウモリをテーマにするなど向山さんとも交流がある八戸市立西園小学校3年生45名の児童の皆さんが現地に訪れ、バットボックス交換作業の見学や、向山さんのお話を聞くなどヒナコウモリの生息環境の学習が行われました。



交換作業の前に向山さんからヒナコウモリについてのお話し。みんな熱心に耳を傾けていました。



新しいバットボックスの「しくみ」について、説明をしていただきました。



西園小学校3年生の児童からは、バットボックスが新しくなったことへの喜びや、これからのコウモリ観察について期待の言葉が寄せられました。



高所作業車を使って交換作業を行いました。



交換作業を見守る西園小学校のみなさん。



新しくなったバットボックスの前で、最後は記念撮影。